

還幸祭 (おかえり)



◆ 還幸祭 (おかえり)

この還幸祭は神輿渡御祭の中心で、今でも氏子で「おまつり」と言えは、この祭を意味します。本社でも本殿や楼門、各御旅所の本殿。神輿から供奉する神職の冠・烏帽子に至るまで、葵と桂で装飾する為、古くから「松尾の葵祭」と言われてまいりました。

当日早朝より各御旅所にて発御祭が行われ、夫々氏子地域へ神輿・唐櫃は出御します。

昼頃に旭の杜にて集結した後、古例による赤飯座（あかいざ）や西ノ庄の粽（ちまき）特殊神饌を供え、祭典が行われます。

その後、列を整え朱雀御旅所に立ち寄り、再び祭典を行った後、七条通りを西に進み、西京極・郡・梅津の旧街道を経て、松尾橋を渡って本社へ還御されます。